

第2学年 授業改善推進プラン

	児童の実態から見える 指導方法の課題（重点項目）	具体的な授業改善策	○成果と▲課題
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○相手意識をもって話したり、大事なことを落とさずに聞いたりするための指導の工夫を図る。 ○自分の経験と結び付けて、思いや考えを分かりやすく書く活動の指導の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や相手を明確に提示し、児童の意識を高める。日常的にスピーチの機会を設ける。 ・聞く姿勢を常時指導する。 ・話した内容の大事なところをメモに書かせるなど、大事なことを落とさずに聞く意識と習慣を付ける。 ・思いや考えを詳しく書くことができるよう、「始め・中・終わり」を用いて構成メモを作り、段落の構成（書く順序）を意識させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○メモを見ながら話すことや、メモしながら聞くことの力が伸びた。 ○「始め・中・終わり」を意識して書くことができる児童が増えた。 ▲日常的にスピーチの機会を設けるのが難しかったので、国語の授業の中で話す・聞くの学習を増やすことが課題である。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○児童が意欲的に活動に取り組めるように、課題・導入・教材を工夫する。 ○図、式、言葉等の表現方法を例示し、自分の考えをノートに表現する力を付ける。 ○学習課題とめあての提示からまとめまでの学習の流れが分かる板書計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の興味、関心を高め、内容の把握ができるように、日常生活の場面を取り入れる等して、課題を工夫し、視覚的に分かりやすく提示する。 ・分かっていることに赤、聞かれていることに青のラインを引かせて、問題を把握させた後、本時のめあてをもたせる。 ・具体物や半具体物などを操作しながら、考えさせる。 ・ホワイトボード等を用いて考えを発表させ、複数の考えの比較・検討を行う。 ・振り返りを書かせ、その中の児童の言葉を生かしたまとめを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○集団思考の流れにそった板書構成をすることができ、児童の考えが深まり、よい意見がたくさん出た。 ○ノートに自分の考えを図や式や言葉を使って分かりやすく書く児童が増えた。 ▲個に応じた指導に関してはさらなる工夫が必要である。
生活	<ul style="list-style-type: none"> ○探検や交流活動を通して、人との関わりや自分自身の成長について考えられるようにする。 ○生き物や野菜への興味・関心を高め、愛情をもって育てることを促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人や生き物との関わりに関する単元計画を学期ごとに明確に立てる。特に校外での活動に関しては、図書館や児童館、お店の探検する計画を立て、活動や体験の充実を図る。また、自分自身の成長に気付けるような場面を多く設定する。 ・動植物と直接接触しあう場面を設定し、児童の興味、関心を高めると同時に、それらへの愛着をもって育てることができるよう環境設定をしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○郊外での体験活動を計画的に実施することができた。 ○自分自身を振り返る活動を多く設定することで、自分自身の成長に気付くことができ、学習への意欲へとつながった。 ○野菜や生き物の世話を責任をもってすることで、愛着をもって接することができた。 ▲グループ活動時に、個人差があるので、支援が必要である。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ○多くの運動を経験させ、体の基本的な動きを身に付け楽しく運動に親しむようにする。 ○めあてをもって運動し振り返りを行うことで、自分の成長に気付けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動への意欲を高めるために、児童が理解しやすい活動の仕方や競争のルール、場の設定などを工夫する。また、親しみやすい動きや体づくり運動を取り入れていく。 ・めあてをもたせ、互いのよさを認め合う振り返りの場を設定することで、自分のよさや相手のよさを取り入れていくようにする。また、振り返りのカードを作成し、めあてや振り返りを記録していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ルールや場の設定を工夫することで、児童が意欲的に運動をすることができた。 ○振り返りの場を設定することが、友達同士の認め合いや、よさの気付きにつながった。 ▲基本的な動きを身に付けさせるために、場の設定や、指導方法のさらなる工夫が必要である。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> ○人に対する思いやりや協力、規則の遵守の心を育てる指導を徹底する。 ○価値に迫るための多様な指導方法を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・価値に迫るために、発問を吟味したり、動作化など発達段階に応じた活動や資料提示の仕方を工夫したりする。 ・発言しやすい場を設定し、多くの児童の発言を促すようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○価値に迫るための活動や資料の提示の仕方を工夫したことで、児童の多くの発言を引き出すことができた。 ▲発問の吟味、資料提示の工夫などはさらに改善していく。